

「多胎児家庭の育児の困りごと に関するアンケート調査」

対象：双子以上の多胎家庭の保護者

回答数：1591件

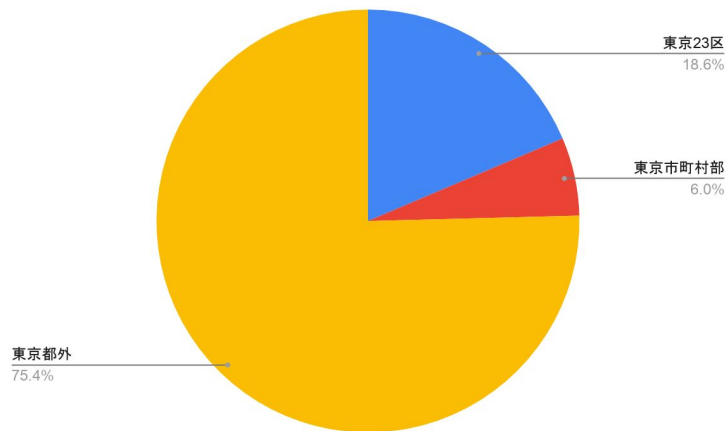
回答期間：2019年9月23日～9月29日、10月8日～20日

多胎育児のサポートを考える会

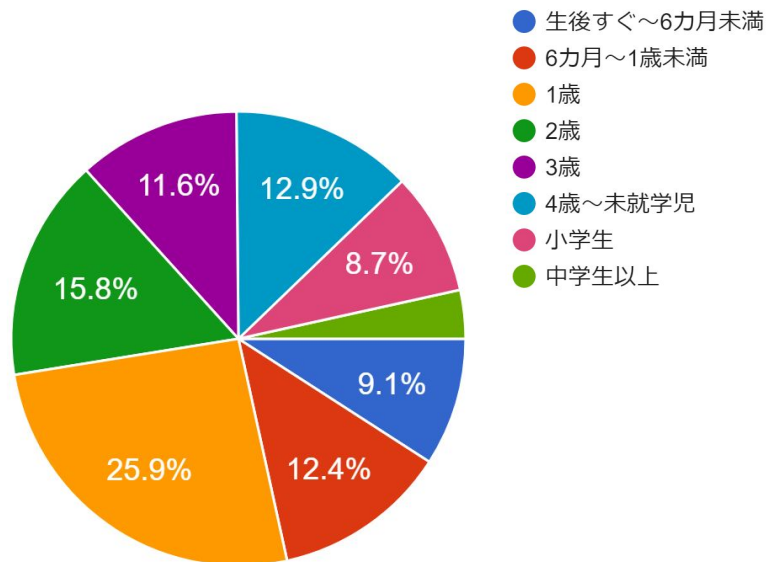
本アンケートについて

実施方法:WEB

- 居住地 東京23区 296名
- 東京市町村 95名
- 東京都以外 1199名



- 多胎児の年齢



多胎育児中に「辛い」と感じた場面（複数選択可能）

●外出・移動が困難である【89.1%】

- ・とにかく外出が大変で市の保健士さんや職員さんによく児童館や保育園の園開放などに積極的に参加するよう言われますが、私1人の時はなかなか連れ出せません。
- ・2人が同時に泣くかもしれないと思うと不安で公共交通機関を利用できない。
- ・準備の段階からとにかく大変。一人の準備をしてももう一人準備している間に泣いたりどこかへ行こうとしたり。結果引きこもってしまう

●自身の睡眠不足・体調不良【77.3%】

- ・乳児期にそれぞれの泣きを対応してたら15時間がたっていた。ご飯どうしたかの記憶がない。
- ・双子が交互に寝たり起きたりしている時期は、いつ寝たらいいのかわからず、**気絶している状態が睡眠時間でした**

●自分の時間がとれない【77.3%】

- ・日中、保育園に通わせられたら幾らかは楽になるのに、**専業主婦だから保育園に入園できない。多胎家庭は希望すればみんな入園できる制度が欲しい。**
- ・自分のトイレに行くわずかな時間さえありません。**我慢をしすぎて膀胱炎にもなりました。1歳半くらいの時にイライラがピークに達して、双子がいる家に鍵をかけて、マンションの下まで自分だけ飛び出してしまったことがあります。**
- ・湯船にもつかれないし髪も乾かせない。趣味は封印。**自分が死んだような感覚。**
- ・一時預かりの予約が取れない。1日2人しか枠がなく、入園まで結局一度も使えなかった。ファミサポもシッターも2人見れる人に出会えない。

●大変さが 周囲に理解されない【49.4%】

- ・サポートの種類が行政にはいくつかあるようだが、そのサポートを受けるための移動が困難な事に気づいていただけでない。
- ・一度に子育て終わっていいね、と言われる。一度に2人分降りかかってくるから大変なのに。

各交通機関での困難な状況

●バス

・**乗車拒否**されたことがある。置くことを条件にされると、荷物と子供2人とベビーカー全部を抱えることはできず、諦めてしまう。

・ベビーカーをたたむ間のこどもたちが心配でそもそもバスに乗る気になれない。

(※そもそもバスに乗ろうと思わない／思えない、という意見多数)

●電車

・目的地がエレベーターがない駅だったので、駅から出られなくて帰宅した。

・横型ベビーカーが幅をとるため、車椅子・ベビーカースペースを使用したいが、どの車両にあるか明確に示されていないので乗れないことがある。

(※そもそも電車に乗ろうと思わない／思えない、という意見多数)

各交通機関での困難な状況

●タクシー

- ・0歳児ふたりを抱えてチャイルドシートのないタクシー乗車は危険すぎてできない。下車後にベビーカーなしでは身動きが取れないので、**双子ベビーカーを乗せられない車両には乗れない。**
- ・運転手さんが赤ちゃんを抱っこしてくれるということを、最近まで知らず、2人を抱えてベビーカーを畳むというのが困難だった。**運転手さんは子供の抱っこや手つなぎ等をしていただけることがわかっていれば楽だったと感ずるので、周知かマークが欲しいと感ずる。**
- ・料金が高いので頻繁には利用できない。**多胎児向けにタクシーチケット等あればとても移動しやすく助かるのになあと思う。**

多胎家庭の一日のスケジュール例(当事者提供)

5/4 晴曇雨 生後 27日

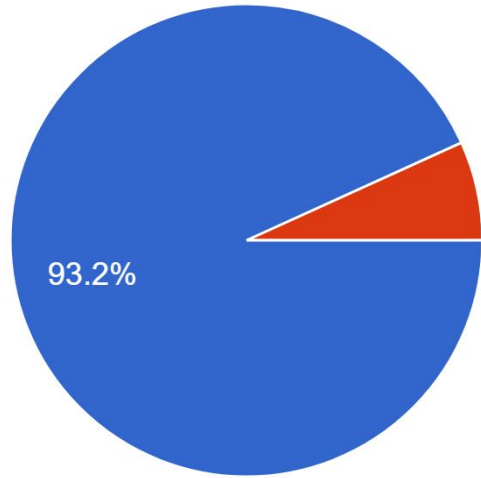
時刻	授乳	尿	便	ミルク量	時刻	授乳	尿	便	ミルク量
0	↑	○	○	(M)15	0	↓	○	○	右
1	↓	○	○		1	↑	○	○	
2	↑	○	○	を	2	↓	○	○	
3	↓	○	○		3	↑	○	○	
4	↑	○	○	(M)30	4	↓	○	○	
5	↓	○	○		5	↑	○	○	M80
6	↑	○	○		6	↓	○	○	
7	↓	○	○	左	7	↑	○	○	右
8	↑	○	○		8	↓	○	○	
9	↓	○	○		9	↑	○	○	
10	↑	○	○	(M)80 沐浴	10	↓	○	○	右 M100
11	↓	○	○		11	↑	○	○	
12	↑	○	○		12	↓	○	○	
13	↓	○	○	左	13	↑	○	○	
14	↑	○	○	M40	14	↓	○	○	右
15	↓	○	○		15	↑	○	○	右
16	↑	○	○		16	↓	○	○	右
17	↓	○	○	左 M80	17	↑	○	○	
18	↑	○	○	(M)50	18	↓	○	○	(M)50
19	↓	○	○		19	↑	○	○	
20	↑	○	○		20	↓	○	○	
21	↓	○	○	(M)80	21	↑	○	○	
22	↑	○	○		22	↓	○	○	(M)50
23	↓	○	○		23	↑	○	○	

9148g 3310g
 4名の子供の3名と1名の子供

- ・オムツ替え28回、授乳18回。その合間に搾乳・沐浴・寝かしつけ
- ・小さく産まれることが多い多胎児は、哺乳力が弱いために
 ミルクを飲むのにも時間がかかる
- ・自分のための時間どころか、ご飯やトイレ、お風呂の時間も
 ままならない

気持ちがふさぎ込んだり、落ち込こんだり、子どもに対してネガティブな感情を持ったことはあるか？／あったか？

- ある／あった
- ない／なかった



- ・近くの保育園に育児補助を頼もうとしたら 2人同時は空いていませんとよく断られました。金銭的余裕もなく塞ぎ込みノイローゼ手前にまでなりました。子供を投げてしまったこともあります。
- ・完全にノイローゼで、後ろ向きなことしか考えられませんでした。毎日、泣いていました。
- ・多胎児はほんとうに意味がわからないくらい毎日が戦争。気が狂うし死にたくなる。虐待する気持ちも分かってしまう。援助が必要です。
- ・ぐっすり寝れる日は1日ありません。その状態で初めての育児しかも 2人分の命を守らなければという重圧がのしかかり、気が狂う かと思いました。
- ・何度、子どもを殺してしまうかも ...と思ったことかわかりません。

外出困難ゆえに孤立し、自分の時間も取れず、周囲の無理解から追い詰められています。愛知県豊田市の事件について、母親への共感に近いコメントも複数見られました。

どのようなサポートがあれば、気持ちが和らぐか

●家事育児の人手 ※移動支援含む

【1086名・68%】

・子供が乳児の頃は育児家事をサポートしてくれるが家に来て2時間でも寝させてくれたらありがたいのに...と思う。
・とにかく人手が足りないので、サポートが欲しいです。
特に外出が全く出来ませんでした。2年間くらいはほぼ引きこもりだった

●金銭的援助

【891名・57%】

・無料で一時保育やファミサポの利用ができる回数券などがあるといい人預けると料金が高く、結局1度も利用したことはありません。
・一時保育利用料やおむつの助成などの金銭的な補助

●子を預ける場所

【831名・52%】

※保育園入園基準の改善、訪問型のベビーシッター含む

・保育園に入園できて、とても楽になりました。育休中は何度も泣きながら、仕事中的夫に「限界。どこか預けると探してきて」とメールしていました。私は仕事を持っていたので保育園に入れましたが、専業主婦で多胎児を生んだ場合、幼稚園に入るまで預け先がない状態は親子ともにほんとうに危険だと思います。家事支援より預け先が欲しいです。
・子供から離れて一人になる時間が欲しいが、一時保育で2人同時の枠がない空きはないし低月齢では利用できない。
・家に来てくれる一時保育。

●同じ立場の人との交流

【681名・43%】

・悩みを吐き出せる場所が欲しい。いっぱいいっぱいになると、その場所を探すことすら出来なかった。時々、産まれた病院で多胎児の会があり、救われた
・交流会は出席したいけれど、外へ出るまでが物凄い大変なので、出席されてない方がとても沢山いらっしゃると思います。

行政に求めること①(国・市区町村)

①保育の必要性認定に『多胎であること』をいれる(国) ／多胎加点の全国化(市区町村)

多胎育児は、就労・介護・就学などと同様、もしくはそれ以上にハードです。保育の必要性認定に、「多胎児であること」を入れ、親に休息の時間を与える必要があります。また、優先して多胎家庭が入園出来るよう、「多胎 加点」を全国の市区町村が導入すべきです。

[1]保育を必要とする事由

以下のいずれかに該当することが必要です

1. 月48時間以上の就労（フルタイム、パートタイム、夜間、居宅内労働など）
2. 妊娠・出産
3. 保護者の疾病・障がい
4. 同居親族等の介護・看護
5. 火災等災害の復旧
6. 求職活動（起業準備を含む）
7. 就学（職業訓練校などによる職業訓練を含む）
8. 虐待やDVのおそれがあること
9. 育児休業取得時に既に保育を利用していること
10. その他、上記に類する状態にあり、児童を保育することができないと認められる場合

「多胎児を育てていること」
を入れて下さい

行政に求めること②(国・都道府県・市区町村)

② ・公的な居宅訪問型の一時的預かりサービスの制度拡大 ・民間ベビーシッター利用への補助

- ・とにかく外出が困難なため、施設型一時的預かりサービスを受けることが極めて困難です。よって、訪問型の一時的預かりサービスが必要です。「居宅訪問型一時的預かり」制度は既に存在していますが、事業者への補助単価も低く対象児童が限定的ため、現在制度を利用するサービス事業者がゼロです。
- ・民間企業のベビーシッターは2名分かつ高額なので、ほとんどの親は利用を躊躇し、一人で背負う傾向にあります。民間シッター利用料の補助が必要です。

行政に求めること③④(都道府県・市区町村)

③バス乗車ルールの改善、タクシー利用の補助

公的交通機関に乗れないことが多く、孤立しがちです。
双子ベビーカーを折りたたまなくても乗れるようにルールを変えることや
タクシー利用の補助が必要です。

④行政が多胎妊婦情報を把握した時点で行政側から情報と 具体的支援を届ける

例：ファミリーサポート登録

- ・出産前に、医療機関を通じて自治体が多胎予定を把握した段階で登録を促す
- ・乳児家庭全戸訪問事業での訪問時に登録手続きができるようにする

アンケートからの抜粋(参考資料)

- **今後、不妊治療の普及、増加に伴い多胎は増える一方だと予測されます。**
是非、この多胎の皆さんのアンケート結果を生かした政策をお願いします。(関西地方・2歳三つ子の母)
- **多胎児は、全体で見れば少数で、当事者にしか理解できない大変さがある。また、本当に大変過ぎる期間は数年(だと信じてる)なので、多くの方は精神的に相当苦しんだとしてもそれを声に出さずにじっと耐え抜いているのだと思う**声をあげる気力も暇もない**のが実情。そして問題が可視化されずにきているのではないかと思う。それに気づくのは、死亡事故や事件が起きた時なのだと思う。**皆ギリギリのところ**で耐えている。悲しい事故をこれ以上出さないためにも、日頃からの継続的な支援ができる社会になることを願っている。**
(関東地方・2歳双子の母)
- **窓口で案内するだけじゃダメです。冊子やチラシを渡すだけじゃダメです。こんな行事があります参加してみてくださいなど口頭だけじゃダメです。ママ達が双子、三つ子を連れて役所の窓口に行ったり行事に参加することがどれだけ大変かわかってください。**
(東海地方・3歳双子の母)
- **助けを求めてくるのを待たないでください。行けないんです。**
(中国地方・1歳双子の母)
- **なかなか想像することが難しいかもしれませんが、目の前に0ヶ月の赤ちゃんが二人、お腹から出てきた。という状態**不安でたまりませんでした**。これから出産する方や今辛い状況にある方が少しでも安心して子育てできるよう、ご尽力いただければと思います。**
(小学生双子の母)
- **多胎育児で切羽詰まってる方々は、1分1秒先の未来ですら考えられない状態です**相談したくても忙しすぎて時間がな**かったり、**思考することすら困難な状態**でできない場合が多いです。三つ子事件の事は1日たりとも忘れたことはありません。全国的に今すぐ対応を強化していただけたらと願います。(1歳三つ子の母)**